地域公共交通確保維持改善事業の評価について

資料２

１　主旨について

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価（以下「自己評価」という。）を行い、当該自己評価の結果を、補助金の交付を受けようとする会計年度の１月末までに、地方運輸局等に報告するとともに、公表する必要があるため。

２　本市の補助対象事業及び補助対象路線について

地域公共交通確保維持事業の区分	補助対象事業	補助対象路線	生活交通確保維持改善計画の策定主体
地域間幹線系統確保維持事業	地域をまたがる幹線バス交通ネットワークの確保維持事業	大沼線、岡崎西尾線、岡崎足助線、岡崎安城線	愛知県公共交通協議会
地域内フィーダー系統確保維持事業	山村振興法に基づき指定された振興山村（額田地域全域）を沿線に含む地域間交通ネットワークと接続する地域内交通の確保維持事業	額田支所市民病院線、下山地区線、形埜地区線、宮崎地区線、豊富・夏山地区線	岡崎市（岡崎市交通政策会議にて協議）

※地域幹線系統確保維持事業については、愛知県公共交通協議会にて評価を実施

【対象路線図】

３　令和５年度　地域内フィーダー系統確保維持事業の流れについて

	内容	日程	備考
①	令和４年第１回岡崎市交通政策会議にて計画協議	R4.5.27	
②	運輸局より計画認定	R4.9.28	
③	令和５年度計画に基づく事業の実施	R4.10～R5.9	下山地区線の計画変更有
④	岡崎市交通政策会議にて自己評価（一次評価）	本日	
⑤	国による第三者評価委員会の実施（二次評価）	R6.2 予定	

４　Ｒ５年度　岡崎市フィーダー系統確保維持事業の評価について

１　評価目的

「事業の実施状況の確認」、「目標達成状況」等の評価を行うことによって、**<u>より効果的、効率的に運行されること</u>**を目的とする。

２　目標の達成状況と考察（詳細は別紙２－１のとおり）

〇目標の達成状況

系統	利用者数（実数値・（目標値））	利用率（実数値・（目標値））	達成状況
額田支所市民病院線	5,543 人（4,487 人）	0.14%（0.12%）	A
下山地区線	3,273 人（2,618 人）	1.65%（1.36%）	A
形埜地区線	218 人（468 人）	0.36%（0.78%）	B
宮崎地区線	237 人（283 人）	0.71%（0.87%）	B
豊富・夏山地区線	221 人（322 人）	0.15%（0.22%）	B

利用率＝日利用者数／沿線人口×１００、利用者数＝年間利用者数／年間運行日数

〇評価基準について

	A	B	C
目標・効果達成状況	目標が達成された場合	目標は未達成だが、地域で路線維持等に努める動きが見られた場合	左記以外

〇考察

・定期的に利用していた高齢者が外出できなくなることや高齢者世代における免許非保持者の減少によりバスの利用者数が減少していると考えられる。

・下山地区線については、小規模特認校制度を利用する児童や地域の生徒等の定期的な利用者が増加したことで利用者数の増加につながった。

〇事業の今後の改善点

・目標達成路線については、引き続き利用促進に努める。

・移動困難者がでないように地域と情報を共有し、移動手段の維持に努める。

５　【参考】Ｒ５年度　中部様式（別紙２別紙③）について

中部様式は、国による第三者評価委員会の発表資料として作成されるものだが、**<u>協議会等の取り組みを広く市民に紹介する資料</u>**としても活用するように位置づけられている。

（補助事業）：今回の政策会議で協議。（資料２別紙①）

（計画の評価結果）：第１回の政策会議で協議。（資料２別紙②）